連載コラム
column

マナーある招待状に、来る晴れの日を思う。

年齢のせいもあるのか、最近はめっきり少なくなってきたが、それでもこの春、二組のカップルから結婚式の招待状が届いた。一通は友人が新婦、もう一通は友人が新郎であった。といっても、実はどちらも、この日招待状が届くまで、どのような方とご縁があり、結婚することになったのかについて手元にまったく情報がない。招待状、それだけを頼りに、今はこの二組の晴れの日を楽しく想像するのだ。

今や結婚披露宴の形は様々であるが、現在の日本の結婚式はおおよそ、西洋化の洗礼を受けた明治の御世、鹿鳴館時代にルーツを遡るという。何せ、日本古来の結納や祝宴、神前結婚ですら多様化の流れを免れない時代である。だから、昔ながらの風習で行われる結婚式は、風物詩としてニュースになったりさえする。

そうして、様々な文化、風習、様式、時代性を取り入れながら、特別な日を祝す結婚式は日々進化しているのだが、日本にはまた「不易流行」という言葉がある。〝変わらないもの、変わりゆくもの〟といった意味だが、礼儀作法の大切さは、まさに不易、変わってはいけない「魂」のようなものである。

招待状は挙式にあたり、招待客の皆様への最初の正式な結婚報告となる、決して欠くことのできない大切な礼儀である。これを守って、祝意を頂戴してはじめて、結婚生活は順調なスタートを切るのであるから、結婚式の成功はこのスタートの合図たる招待状にかかっているといっても過言ではない。

招待状には、それを送った挙式する二人のパーソナリティが透けて見える。あるいは、どのような祝宴に皆を招こうとしているのかが垣間見える、予告編の趣もある。

そういう思いで手元にある招待状を読み直すと、礼を尽くしたフォーマルな体裁に、これから誕生するまだ見ぬカップルへ、早くも祝意を送りたい気持ちになるものだ。

株式会社マイプリント http://www.myprint.co.jp/ 〒206-0025 東京都多摩市永山 6-11-11

MY Pleasure

喜び・感謝伝える“マイプレジャー”

2010 Spring Vol.1
創刊号

創刊記念 巻頭インタビュー

ブライダルファッションデザイナー
桂 由美さん

密着 LIVE CAMERA
横浜営業所

新サービス
ウエディングパートナーシステム（WPS）

創刊のごあいさつ　ほか

1月のパリオートクチュールコレクションで発表し、話題を集めたマリンリーフを使用した作品。

夢は世界一美しいウエディングの創造

農業生物資源研究所と桂由美との共同制作による蛍光絹糸（オワンクラゲの蛍光カラータンパク質を組み換え、カイコ技術を用いて絹糸に発現させたもの）で作成したドレスはライトダウンすると神秘的な緑色に光るドレスに。

世界を舞台に第一線でご活躍し、
日本のファッションデザイン界を牽引する
ブライダルファッションデザイナーの
桂由美先生に、
ウエディングドレスへのデザインにかける情熱と
MY Pleasure=私の喜びについて、
お話を伺いました。

「日本にも品格のあるドレスを」が原点

この度は“MY Pleasure”創刊とのこと、おめでとうございます。

私がこの仕事を始めたきっかけは、今から45年前、その当時、日本の結婚式は和装が97%でしたが、将来ウエディングドレスを着る人がだんだん増えていった時に、欧米に負けないウエディングドレスを作りたいと思ったことです。そのために一番大切にしているデザインのポイントは「品格、ロマン、エレガンス」の3つの要素です。さらには着る人を美しく見せ、着心地の良いドレスを作ることに努めてきました。

また、世界中の花嫁を美しく輝かせたいという思いから、ニューヨーク、ロンドン、ローマ、モスクワ、北京、上海など、世界20ヵ国でコレクションを開催してきました。

毎年参加しているパリオートクチュールコレクションもそのひとつです。日本人では現在私一人しか参加していませんが、独創性や斬新さを競う最高峰のコレクションなので、常に最新の素材を探し求めています。今年1月のパリコレでは、鯛のうろこ（マリンリーフという新素材で、従来廃棄されていたうろこを特殊加工し、様々な色に染色したもの）やブラックバンブー、和紙のレースで彩ったドレスなどを発表し、大変話題になりました。エコが注目されている時代ですので、“Loving Nature”をコンセプトに、自然の美しさを表現するコレクションとし、エコ素材を多く使いました。

このようにブライダルファッションの可能性を高めるための努力も続けていますが、ドレスのデザインについては、女性の結婚年齢にも影響を受けます。最近では、結婚の平均年齢が28歳と晩婚化が進んでいたので、欧米的セクシー路線が中心になっていましたが、経済ショック以来、若い人に結婚願望が高まり、アーリーウエディング志向が目立ってきました。そこで、可愛い路線との二極化が進んでいるのが現状です。

招待者に話題を提供するペーパーアイテム

結婚式は招待状から始まります。招待状をいただいた人は、招待状からどんな結婚式なのかを想像し、またどんな服装で行くかを決める指標にもなります。昔は人と同じでよかったけれど、今は結婚式も多様化の時代、それぞれの個性が出るパーソナリティ溢れるウエディングになってきているのですから、その顔ともいうべき招待状も多様化して欲しいと思っています。

また結婚式の当日には、欧米に比べ社交性の低い日本では、ペーパーアイテムが社交のきっかけを作る役割を果たすのだと思います。マイプリントには、これからも豊富な品揃えと独創性で、結婚式が和やかにそしてエレガントになるような作品を期待しています。

私の夢は日本の結婚式を世界の中で一番美しく、オリジナリティ溢れるものにすることですが、最近ようやくオリジナルウエディングが浸透してきており、80%は達成できたと思っています。

そして、私にとっての“MY Pleasure”とは、お客様ひとりひとりが喜んでくれること。その喜びに接することが大好きだから、この仕事が長続きしているのだと思っています。

桂 由美（かつら ゆみ）ブライダルファッションデザイナー

東京生まれ。共立女子大卒業後、パリへ留学。1964年に日本初のブライダル総合専門店をオープンして以来、日本初の ブライダルコレクションの開催や全日本ブライダル協会を設立。東洋人デザイナーとして初めてイタリアファッション協会会員となり、ローマオートクチュールコレクションに参加、2003年からは毎年パリでコレクションを発表し、パリ店をオープンするなどグローバルに活動し続け、日本のウエディングファッション業界を牽引している。著書に「プロポーズ」「世界基準の女になる！」「桂由美MAGIC」など。㈱ユミカツラインターナショナル代表取締役社長、㈱桂由美ウエディングシステム代表取締役社長、NPO法人全日本ブライダル協会会長、アジアブライダル協会連合会会長。

地元愛の強い横浜エリアでは、地域密着スタイルで高付加価値の提供へ。

先進の気風と異国情緒あふれる地域特性が魅力の横浜エリアは、式場やホテルが充実している激戦区。最前線で日々業務に取り組む横浜営業所に、伊藤賢司所長と加藤博和所長代理をたずねました。

横浜営業所の原動力となるコミュニケーションの場。

所長 伊藤賢司

“ブライダルの入り口”という緊張感で、激戦区の横浜エリアを担当。

――最初に横浜営業所の担当地区とその特徴を教えてください。

伊藤：横浜を中心として、川崎、小田原、海老名、大磯、厚木など、神奈川県全体を網羅しています。

加藤：特に横浜エリアは式場が充実しているので、集客力が高く注目度の高いマーケットですから、営業所の約80%のクライアントを占めています。

――エリア特性をふまえて、日頃からどのようなことを心がけていますか。

伊藤：横浜地区は地元が大好き。友達同士、知り合い同士を招待する結婚式が多い土地柄ですので、人と人とのつながりが大切です。ですから私たちの営業スタイルもおのずと、単に営業目的だけではなく、式場やプランナーの方々との密なコミュニケーションを心がけることが求められます。

加藤：そうですね。コミュニケーションや情報共有の大切さは日々の業務において大変重要です。私たちの仕事は、ブライダルの一番入り口の部分において式場やプランナーの方々をサポートすることですから、失敗が許されません。常に緊張感を持ち、何度も確認し、何かあれば必ずメモに残し、疑問を残さないよう心がけています。

ペーパーアイテムの専門家として、こだわりの強いお客様のニーズにYESを。

――お二人の今後の展望をお聞かせください。

加藤：最近では自作のペーパーアイテムを持ち込みたいという挙式者もおられますが、私たちはペーパーアイテム専門の会社として、挙式者が思い描いている結婚式に合う提案力をもっている自信がありますし、今後も式場やプランナーの方々の生の声を活かし、挙式者が求める商品の開発に励んでいきます。

所長代理 加藤博和

伊藤：また横浜地区は挙式者の要望も、他の地区と比べてオリジナル性が高く、こだわりの強い地区ですので、今後は観光名所や地域の特色を活かした横浜ならではのオリジナルアイテムも作りたいですね。

――最後に、読者の皆様にメッセージをお願いします。

加藤：横浜営業所一同、お客様の満足度を第一に、明るく元気な営業所を目指していきますので、これからもご支援よろしくお願いいたします。

伊藤：ここ横浜営業所の社員・アルバイト含めすべてのメンバーは部下ではなく仲間です。メンバーが働きやすく、お客様により良い商品を提供できる職場環境を作ることが私の使命だと思っています。マイプリントは全国規模の会社ではありますが、横浜営業所は地域密着スタイルを貫き、お客様のご意見やご要望にNOを言わない営業所を目指します。式場やプランナーの方々と一緒に、挙式者に喜んでいただける結婚式を作るお手伝いができたら最高に幸せです。

お客様の満足度を第一に、明るく元気な営業所を目指しています。

横浜営業所データ
営業：5名／アシスタント：2名／
インフォメーション：7名／業務課：2名　計：16名

WEDDING PARTNER SYSTEM

インターネットを使った新サービス

ウエディングパートナーシステム(WPS)をリリースいたしました!

ウエディングパートナーシステムとは・・・

インターネットを使って24時間どこからでもアクセス可能。テーブルプランを中心として各種ペーパーアイテムやウェルカムアイテムなどの準備をトータルでサポートする、今までにない画期的なシステムです。

メリット1　確実な業務軽減に寄与します

ゲスト名の確認、校正紙のやりとり、引出物数量の計算など多くの準備業務から開放されます。また、インターネットを介した情報共有が打ち合わせの効率化につながります。

メリット2　持ち込み防止につながります

ペーパーアイテムの作成進行が披露宴準備の一部となります。システムを利用したスムーズな披露宴準備が手作りや持ち込みの防止につながります。

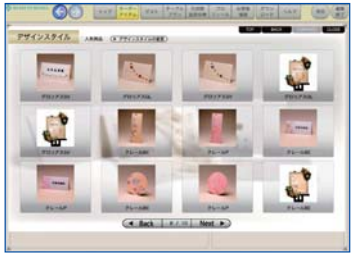
メリット3　単価アップが期待できます

ウェルカムアイテムやメモリアルアイテムなどの単価アップアイテムも、WEBページでは手間と場所をとらずに追加掲載が可能です。

◎挙式者に「楽しい!」を提供

ペーパーアイテムの作成が楽しくなる機能を満載しました。

機能1　パソコンでデザインチョイス



WEBカタログ機能:コンセプトや仕様まで網羅したWEBカタログにより、お客様にご自宅でゆっくり商品をお選びいただけます。

機能2　ドラッグ＆ドロップでゲストを配席

校正紙作成機能:列席者リストから画面上でドラッグ＆ドロップ!簡単な操作で楽しみながらゲストの配席が完了します。

機能3　プロフィール作成に自由度をプラス!

プロフィール作成機能:イラストのトッピング、写真のフレームなどを自由にアレンジ!こだわりのプロフィールができあがります。

◎担当者様には「便利さ」を提供!

WEBカタログ機能:ゲストへの引出物や食事の注意事項など、さまざまな披露宴情報の入ったテーブルプランが簡単に作成できます。

ウエディングパートナーシステムについてのご質問などは弊社営業担当までお問い合わせください。

創刊のごあいさつ

私共の機関誌創刊にあたりまして、ご挨拶申し上げます。

株式会社 マイプリント
代表取締役社長 早川 忠勝

弊社株式会社マイプリントは、婚礼印刷物を取り扱う企業として、全国お取引先様、関係各位のあたたかいご支援をうけ展開させていただき45年になりました。

各式場様は勿論、エンドユーザーである挙式者様にご満足いただけるよう、弊社での活動や、弊社ならではの情報を皆様にご案内するため「MY Pleasure」を創刊する運びとなりました。「MY Pleasure」とは、英語においてThank You.と言われた後に返す「どういたしまして」の意、感謝への謝辞であり、「ありがとう」と言っていただくためのサービスを約束する媒体という意が込められています。また、一文としてみた場合「私の喜び」の意でもあり、これは結婚を迎える方々の心情を象徴させるものでもあります。

これからのマイプリントは、培ってきたもの、これから大切に育てていかなければならないもの、私たちに何ができるのか、そして何をしなければならないのかを考え、より良い商品と最高のサービス提供の実現のため、社員一丸となって新たな飛躍に向かってチャレンジしていきます。「MY Pleasure」創刊もそのひとつとなります。

本機関誌の内容にお気づきの点がございましたら、ご遠慮なく、ご意見、ご助言を営業担当まで賜りますようお願い申し上げます。また、全国各式場様、関係各位に喜んでいただけるように、本機関誌を通じて良い関係を築いて参りたいと思います。

今後とも何卒一層のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

編集後記

機関誌創刊の企画発足から、約半年の制作期間を経て、本日創刊日を迎えることができました。創刊にあたり、様々な形でご協力頂いた皆様へ、この場をお借りして感謝申し上げます。次号もどうぞご期待ください。(Y.F)

春を待ち望んでいたのも束の間、気づけばもう桜も散りましたね。私は機関誌制作の合間に花見をエンジョイしました。桜の花は何度見ても綺麗ですよね!なんて言いつつ実は花より友達の手作りお弁当に夢中でした(笑)。(H.S)